

記者発表資料



令和3年3月30日
 鳴瀬川等流域治水協議会
 北上川下流等流域治水協議会

あらゆる関係者により水害対策を推進するため、鳴瀬川水系、北上川水系において、「流域治水プロジェクト」を策定しました。

(鳴瀬川水系) ~都市農村交流により支え合い、開発とバランスの取れた流出抑制と更なる治水対策の充実~
 (北上川水系) ~東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農地等を活用した治水対策の推進~

- 令和元年東日本台風での阿武隈川（福島県）・吉田川（宮城県）、令和2年7月豪雨での最上川（山形県）での災害をはじめ、全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化しており、流域を俯瞰し、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村等）が協働して取り組む治水対策「流域治水」を推進していくことが必要です。
- このため、両水系において流域治水協議会を昨年9月に立ち上げ、関係機関が協働して流域治水プロジェクトを作成して参りました。
- 「流域治水プロジェクト」では、国、県、市町村等が連携し、河道掘削、堤防整備等を着実に実施していく他、農地・農業水利施設や森林整備などと連携した流出抑制、内水被害軽減などの対策を組み合わせた流域治水を進めて参ります。

※詳細については、

別紙（鳴瀬川水系流域治水プロジェクト）（北上川水系流域治水プロジェクト）
 ※ロードマップの「短期は概ね5年、中期は概ね5~10年、中長期は概ね10年以上降参考（流域治水プロジェクト）
 又は以下URLよりをご覧ください。

<http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/project/index.html>

<発表記者会>：石巻記者クラブ、古川記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問合せ先

【鳴瀬川等流域治水協議会 事務局】【北上川下流等流域治水協議会 事務局】



国土交通省 北上川下流河川事務所
 〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新下沼80
 電話：0225-95-0194（代表）

技術副所長 とやま ひさのり 外山 久典（内線205）《全般・ソフト施策》
やなば けんいち
 建設専門官 築場 賢一（内線505）《 ” ” 》
やぎ えり
 技術副所長 八木 恵里（内線204）《ハード対策》



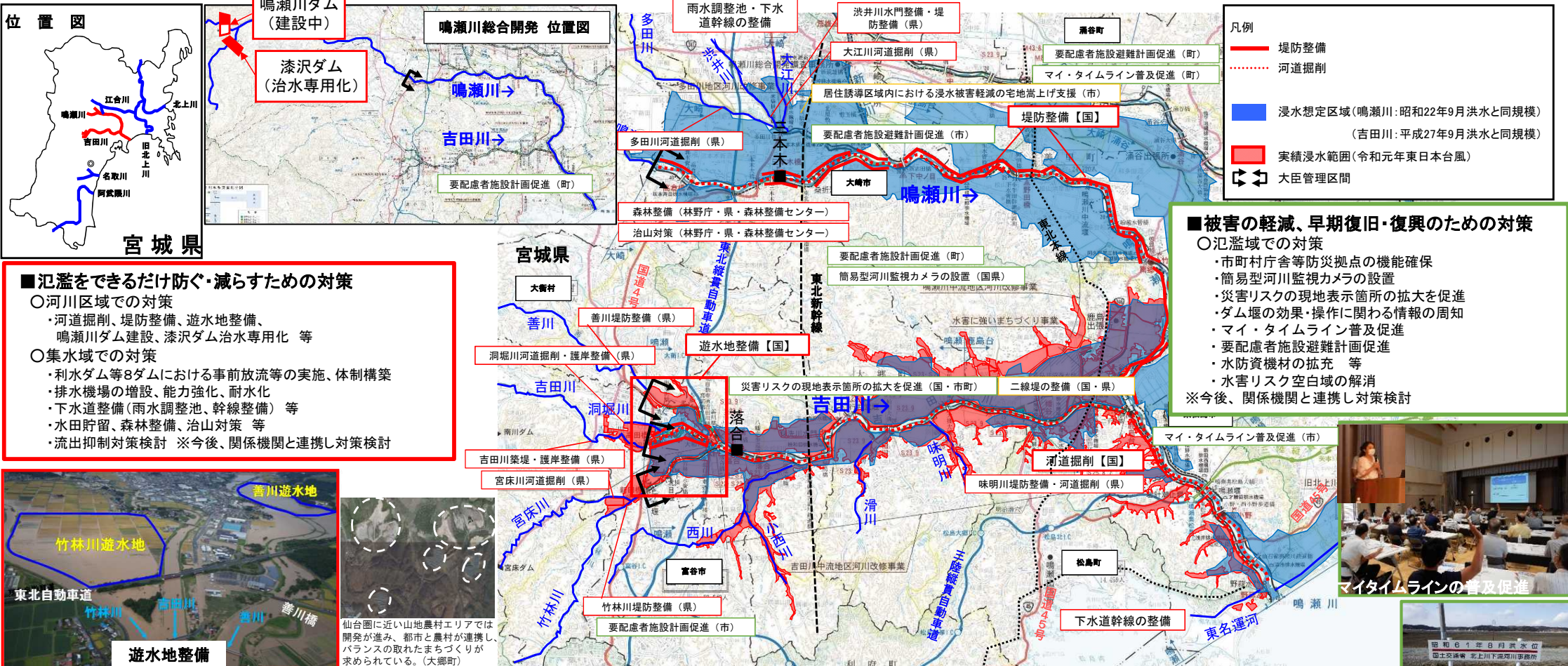
宮城県 土木部 河川課
 〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号
 電話：022-211-3176（代表）

技術副参事兼課長補佐（総括担当） すずき よしとも 鈴木 善友（内線3176）

鳴瀬川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～都市農村交流により支え合い、開発とバランスの取れた流出抑制と更なる治水対策の充実～

○ 令和元年東日本台風で甚大な被害が発生した鳴瀬川水系では、吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクトに加え、以下の取組を実施していくことで、国管理河川においては、昭和22年9月カスリン台風（鳴瀬川：戦後最大）と同規模の洪水に対して安全に流下させ、令和元年東日本台風洪水（吉田川：戦後最大）と同規模の洪水に対しては堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○ 河川区域での対策

- ・河道掘削、堤防整備、遊水地整備、鳴瀬川ダム建設、漆沢ダム治水専用化 等

○ 集水域での対策

- ・利水ダム等8ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
- ・排水機場の増設、能力強化、耐水化
- ・下水道整備(雨水調整池、幹線整備) 等
- ・水田貯留、森林整備、治山対策 等
- ・流出抑制対策検討 ※今後、関係機関と連携し対策検討

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○ 氾濫域での対策

- ・市町村庁舎等防災拠点の機能確保
- ・簡易型河川監視カメラの設置
- ・災害リスクの現地表示箇所の拡大を促進
- ・ダム堰の効果・操作に関わる情報の周知
- ・マイ・タイムライン普及促進
- ・要配慮者施設避難計画促進
- ・水防資機材の拡充 等
- ・水害リスク空白域の解消

※今後、関係機関と連携し対策検討

■ 被害対象を減少させるための対策

○ 氾濫域での対策

- ・適正な土地利用の規制誘導
- ・二線堤の整備
- ・土地利用・住まい方の工夫(浸水被害軽減の宅地嵩上げ支援等)

※今後、関係機関と連携し対策検討



※対策事業の代表箇所を旗揚げしている。 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。 ※水位をさらに下げて安全に流下させるための検討を実施していく。

鳴瀬川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～都市農村交流により支え合い開発とバランスの取れた流出抑制と更なる治水対策の充実～

- 流域全体のあらゆる関係者が協働して協議・情報共有を図り、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を計画的に推進し、あわせて河川、下水道等の管理者が主体となって行う対策や、更に流域の特徴を踏まえた流出抑制対策、被害の防止・軽減対策を実施する。
 - 【短期】平成27年9月、令和元年10月洪水により甚大な被害を受けた吉田川沿川の浸水被害を防ぐため、河道掘削及び堤防整備を推進するとともに、安全なまちづくりのための土地利用規制や、住民の避難行動を促す河川・ダムの情報提供の充実を図る。
 - 【中期】鳴瀬川沿川の浸水被害を防ぐため、堤防整備及び河道掘削を推進するとともに、安全なまちづくりのための嵩上げ盛土支援や広域連携による避難強化を図る。
 - 【中長期】鳴瀬川ダムの完成を目指すと共に、河川においては令和元年東日本台風を踏まえた更なる治水対策を推進するとともに、森林整備や農業用施設との連携による流出抑制下水道整備を進める。さらにマイタイムラインなど地域住民自らの避難行動に繋がる防災意識の啓発を行い、より確実な避難態勢の構築を図る。

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	吉田川沿川の氾濫を防ぐ河道掘削及び堤防整備	北上川下流河川事務所・宮城県	河道掘削、堤防整備、遊水地整備		
	鳴瀬川沿川の氾濫を防ぐ堤防整備及び河道掘削	北上川下流河川事務所・宮城県	河道掘削、堤防整備		
	令和元年東日本台風を踏まえた更なる対策	北上川下流河川事務所・宮城県	更なる治水対策		
	鳴瀬川ダム	鳴瀬川総合開発工事事務所	鳴瀬川ダム建設		
	利水ダムの洪水調節機能強化	東北農政局・宮城県・流城市町村等	利水ダムの洪水調節機能強化		
	下水道の整備	流城市町村等	下水道の整備		
	流出抑制対策検討	流城市町村等	農業用施設との連	流出抑制対策検	
	森林整備・治山対策	東北森林管理局・宮城県・森林整備センター	森林整備・治水対策		
● 被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫の検討	流城市町村等	嵩上げ盛土支援・広域避難連携	土地利用・住まい方の工夫の検討	
● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害軽減対策検討	北上川下流河川事務所・宮城県・市町村等	被害軽減対策検討		
	ソフト対策のための整備検討	北上川下流河川事務所・宮城県・市町村等	マイタイムライン普及支援	ソフト対策のための整備検討	



【事業費（R2年度以降の残事業費）】

- 河川対策
 - 全体事業費 約1,710億円 ※1
 - 対策内容 河道掘削、堤防整備、遊水地整備、鳴瀬川ダム建設、漆沢ダム治水専用化等
- 下水道対策
 - 全体事業費 約10億円 ※2
 - 対策内容 雨水調整池、幹線整備等

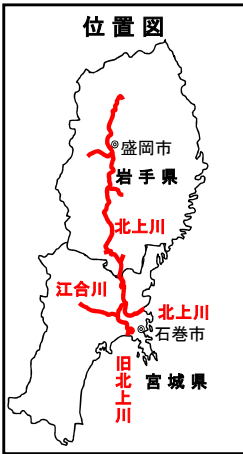
※1: 直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載
 ※2: 各市町における下水道事業計画の残事業費を記載

北上川水系流域治水プロジェクト【位置図】

別紙

～東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農地等を活用した治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、北上川水系においては、広大な森林面積や地域の主産業（農業等）などの地域特性を考慮し、河川整備に併せて、森林整備、治山対策や農地等の活用などの流域治水の取り組みを実施していく。また、国管理区間においては、北上川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和22年9月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河川区域での対策
 - ・河道掘削、堤防整備、遊水地整備、北上川上流ダム再生、築川ダム建設等
- 集水域での対策
 - ・既存ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
 - ・下水道事業（雨水ポンプ場、幹線整備等）
 - ・水田貯留・森林整備・治山対策・土砂災害対策等
 - ・流出抑制対策検討 ※今後、関係機関と連携し対策検討



● 被害対象を減少させるための対策

- 氾濫域での対策
 - ・土地利用に関する計画の見直し（立地適正化計画の策定等）
 - ・土地利用に関する計画の見直し（立地適正化計画の策定等）
 - ・土地利用に関する計画の見直し（立地適正化計画の策定等）
 - ・土地利用に関する計画の見直し（立地適正化計画の策定等）

※今後、関係機関と連携し対策検討



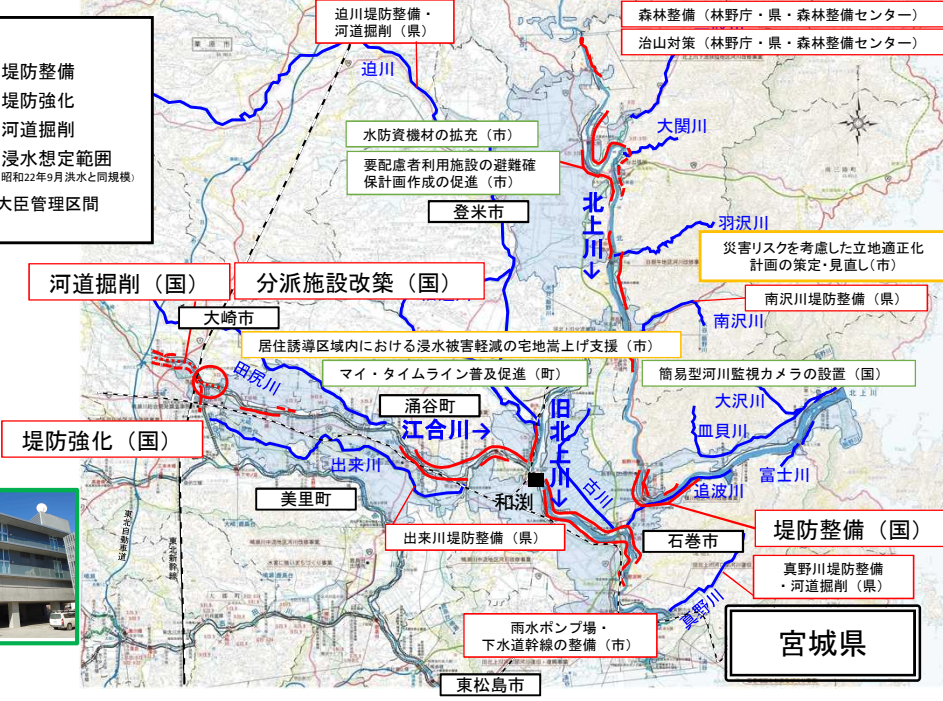
● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 氾濫域での対策
 - ・防災拠点等の機能確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
 - ・メディアと連携による洪水情報の提供
 - ・簡易型河川監視カメラの設置
 - ・災害リスクの現地表示箇所の拡大を促進
 - ・マイ・タイムライン普及促進
 - ・住民への情報伝達の充実
 - ・ダム堰の効果・操作に関わる情報の周知
 - ・水防資機材の拡充等
 - ※今後、関係機関と連携し対策検討



凡例

- 堤防整備
- - - 堤防強化
- 河道掘削
- 浸水想定範囲 (昭和22年9月洪水と同規模)
- ◀▶ 大臣管理区間



※対策事業の代表箇所を旗揚げしている。
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

北上川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農地等を活用した治水対策の推進～

- 北上川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】一関遊水地整備や遊水地下流部の堤防整備および旧北上川分流施設による分派の受け皿としての北上川下流部の堤防整備等を実施するとともに、安全なまちづくりのための土地利用に関する計画の見直しを図る。
 - 【中期】盛岡市街地や北上川沿川等の浸水被害を防ぐため、北上川上流ダム再生および堤防整備等を実施するとともに、森林整備や治山対策と連携した流出抑制や、簡易型河川監視カメラの設置等による避難体制の強化を図る。
 - 【中長期】河道掘削や堤防整備及び新江合川分派施設を改築するとともに、下水道事業による内水被害軽減等の対策を図る。さらに、メディアとの連携による洪水情報の提供や、講習会の実施によるマイ・タイムラインの普及促進、要配慮者利用施設の避難確保計画作成等により、地域住民の防災意識の啓発と確実な避難体制の構築を図る。

【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※ ■■■■■■ : 対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

区分	対策内容	実施主体	実施期間		
			短期	工費中期	中長期
冠水をできるだけ防く、減らすための対策	一関遊水地下流の治水対策	岩手河川国道事務所、岩手県	遊水地下下流部(本川)		
	一関遊水地の整備	岩手河川国道事務所	一関遊水地下流の治水対策(本川)完了(岩手河川国道事務所、岩手県)		
	北上川上流の浸水被害を防ぐための堤防整備	岩手河川国道事務所、岩手県	一関遊水地の整備完了(岩手河川国道事務所)		
	北上川上流の浸水被害を防ぐための河道掘削	岩手河川国道事務所、岩手県	北上川上流の浸水被害を防ぐための堤防整備完了(岩手河川国道事務所)		
	北上川上流ダム再生	北上川ダム統合管理事務所	北上川上流ダムの浸水被害を防ぐための河道掘削(岩手河川国道事務所)		
	利水ダム等の事前放流等に関する対策	北上川ダム統合管理事務所、鴨子ダム管理所 北上土地改良調査管理事務所、岩手県、宮城県	北上川(上流)広域河川改修事業完了(岩手県)		
	流出抑制に関する対策	岩手河川国道事務所 岩手県、宮城県、流城市町等	北上川上流ダム再生完了(北上川ダム統合管理事務所)		
	下水道事業(雨水ポンプ場、幹線整備等)	流城市町等	下水道施設耐水化事業完了(盛岡市)		
	北上川下流部及び石巻災害地を守る堤防整備	北上川下流河川事務所、宮城県	北上川上流ダム再生完了(北上川ダム統合管理事務所)		
	北上川下流の浸水被害を防ぐための堤防整備	北上川下流河川事務所、宮城県	北上川下流部及び石巻災害地を守る堤防整備完了(北上川下流河川事務所、宮城県)		
	北上川下流の浸水被害を防ぐための河道掘削	北上川下流河川事務所、宮城県	北上川下流の浸水被害を防ぐための堤防整備完了(国、県)		
	江合川の浸水被害を防ぐための河道掘削	北上川下流河川事務所、宮城県			
	新江合川分派施設	北上川下流河川事務所			
	被害対象を減少させるための対策	土砂災害対策	岩手河川国道事務所、岩手県	北上川水系 岩の目の沢 事業間連携砂防砂等事業完了(岩手県)	
森林整備・治山対策		岩手河川国道事務所、東北森林管理局、森林整備センター 岩手県、宮城県、流城市町等	災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定・見直し完了(花巻市)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定・見直し	盛岡市、花巻市、北上市、雫石町 等	災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定・見直し完了(盛岡市、北上市、雫石町)		
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進	国、県、流城市町	要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進(国、県、流城市町等)		
	メディアとの連携による洪水情報の提供	北上川ダム統合管理事務所、岩手河川国道事務所 北上川下流河川事務所、鴨子ダム管理所、岩手県、宮城県			
	簡易型河川カメラの設置・運用	岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所 岩手県、宮城県	簡易型河川監視カメラの設置(国、県)		
	マイ・タイムライン普及促進	岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所 岩手県、宮城県			
	被害軽減対策検討	岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所 岩手県、宮城県、流城市町等			
	ソフト対策のための整備検討	岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所 岩手県、宮城県、流城市町等			



【事業費（R2年度以降の残事業費）】

- 河川対策
全体事業費 約3,120億円 ※1
対策内容 河道掘削、堤防整備、遊水地整備、北上川上流ダム再生、築川ダム建設 等
- 砂防対策
全体事業費 約350億円 ※2
対策内容 土砂災害対策 等
- 下水道対策
全体事業費 約1,130億円 ※3
対策内容 雨水ポンプ場、幹線整備 等

※1：直轄及び各流域の河川整備計画の残事業費を記載
※2：直轄砂防事業の残事業費を記載(秋田県側含む)
※3：各市町における下水道事業計画の残事業費を記載

流域治水プロジェクト ～一級水系(109水系)、二級水系(12水系)で策定・公表～

参考

- 「流域治水プロジェクト」は、国、流域自治体、企業等が協働し、河川整備に加え、市町村が実施する雨水貯留浸透施設整備や土地利用規制、利水ダム[※]の事前放流等の治水対策の全体像を各水系で取りまとめたものであり、今般、全国109の一級水系、12の二級水系で策定・公表しました。
- 本プロジェクトのポイントは、① 様々な対策とその実施主体を見える化、② 対策のロードマップを示すとともに河川事業などの全体事業費[※](全一級水系で合計約17兆円規模)を明示、③ あらゆる関係者と協働する体制として協議会を設置したことです。
- 今後、本プロジェクトに基づきハード・ソフト一体となった事前防災対策を一層加速化するとともに、対策の更なる充実や協働体制の強化を図ります。

※下水道事業、砂防事業

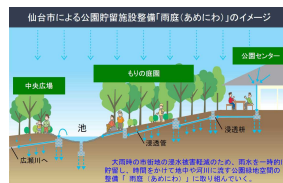
【ポイントその①】 様々な対策とその実施主体を見える化

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 堤防整備、河道掘削、ダム建設・再生、砂防関係施設や雨水排水網の整備 等



河道掘削
(石狩川水系、北海道開発局)



公園貯留施設整備
(名取川水系、仙台市)



用水路の事前水位低下による雨水貯留
(吉井川水系、岡山市)

② 被害対象を減少させるための対策

- ・ 土地利用規制・誘導、止水板設置、不動産業界と連携した水害リスク情報提供 等



二線堤の保全・拡充
(肱川水系、大洲市)



災害危険区域設定
(久慈川水系、常陸太田市)



住宅地盤嵩上げに対する助成
(梯川水系、小松市)

③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ マイ・タイムラインの活用、危機管理型水位計、監視カメラの設置・増設 等



自主防災活動による量堤設置
(揖保川水系、たつの市)



避難訓練の支援
(五ヶ瀬川水系、高千穂町)



公園等を活用した高台の整備
(庄内川水系、名古屋市)

【ポイントその②】 対策のロードマップを示して連携を推進

<ロードマップのイメージ>

区分	主な対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策	河道掘削	河川事務所、都道府県、市町村	→		
	ため池等の活用	市町村	→		
被害対象を減少させるための対策	浸水リスクの低いエリアへの居住誘導	市町村	→		
	浸水防止板設置	市町村	→		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	公園を利用した高台整備	市町村	→		
	地区タイムラインの作成	都道府県、市町村	→		

【ポイントその③】 あらゆる関係者と協働する体制として協議会を設置



流域治水協議会開催の様子

- ・ 全国109の一級水系全てにおいて、総勢2000を超える、国、都道府県、市町村、民間企業等の機関が参画し、協議会を実施。
- ・ 地方整備局に加え、地方農政局や森林管理局、地方気象台が協議会の構成員として参画するなど、省庁横断的な取組として推進